

第2回 サマータイム委員会

日時 2026年 2月20日(金)

場所 商工会議所 議員サロン

次 第

- 1、目標設定の確認
- 2、委員会ロードマップ
- 3、その他

ロードマップ（3年間）

【1年目】 課題定義フェーズ

Phase1（0～2ヶ月）

▶目的：方向性統一

メンバーがやること：ゴール設定

(A) 確認事項：全員が目的を理解しているか

成果物：プロジェクト基本方針書

Phase2（2～4ヶ月）

▶目的：導入可能性確認

メンバーがやること：国内の早朝勤務制度の事例収集／建設業の早出制度ヒアリング

(A) 確認事項：日本で制度運用可能か

成果物：国内事例レポート

Phase3（4～6ヶ月）

▶目的：猛暑リスク数値化

メンバーがやること：気温データ収集／熱中症搬送数調査

(A) 確認事項：日田の午後リスクが明確か

成果物：労働リスク分析資料

Phase4（6～8ヶ月）

▶目的：現場課題把握

メンバーがやること：企業訪問／ヒアリング実施／アンケート配布

(A) 確認事項：早出勤務の実施可否

成果物：企業ニーズ報告書

Phase5（8～10ヶ月）

▶目的：地域課題整理

メンバーがやること：医療・企業・気象データ統合分析

(A) 確認事項：導入必要性の説明が可能か

成果物：必要性整理資料

Phase6（10～12ヶ月）

▶目的：制度試案作成

メンバーがやること：7～16時勤務モデル設計／業種別シフト作成

(A) 確認事項：現実的な勤務時間か

成果物：制度試案Ver.1

【2年目】実証フェーズ

Phase7 (12~14ヶ月)

▶目的：実証準備

メンバーがやること：導入企業募集／評価指標設定

(A) 確認事項：協力企業の同意取得

成果物：実証計画書

Phase8 (14~16ヶ月)

▶目的：実証①開始

メンバーがやること：勤務時間前倒し導入／勤怠データ収集

(A) 確認事項：現場トラブル有無

成果物：実証データ①

Phase9 (16~18ヶ月)

▶目的：効果測定

メンバーがやること：作業効率／残業時間／電力使用量分析

(A) 確認事項：生産性変化

成果物：評価レポート①

Phase10 (18~20ヶ月)

▶目的：課題抽出

メンバーがやること：従業員満足度調査／生活影響確認

(A) 確認事項：家庭生活の支障

成果物：課題整理資料

Phase11 (20~22ヶ月)

▶目的：制度改善

メンバーがやること：勤務時間調整／業種別モデル見直し

(A) 確認事項：改善効果見込み

成果物：改善案Ver.2

Phase12 (22~24ヶ月)

▶目的：再実証

メンバーがやること：改善版導入／再測定

(A) 確認事項：効果の持続性

成果物：評価レポート②

【3年目】社会受容性フェーズ

Phase13 (24～26ヶ月)

▶目的：市民理解把握

メンバーがやること：市民アンケート作成／実施

(A) 確認事項：理解度・反対意見

成果物：市民調査報告書

Phase14 (26～28ヶ月)

▶目的：生活影響確認

メンバーがやること：保育園／学校ヒアリング

(A) 確認事項：登校・送迎問題

成果物：生活影響評価

Phase15 (28～30ヶ月)

▶目的：関係機関連携

メンバーがやること：商工会／医療機関意見収集

(A) 確認事項：健康面の懸念

成果物：連携報告書

Phase16 (30～32ヶ月)

▶目的：制度最終設計

メンバーがやること：任意参加モデル設計

(A) 確認事項：制度導入可能性

成果物：制度設計Ver.3

Phase17 (32～34ヶ月)

▶目的：提言書作成

メンバーがやること：背景／結果整理

(A) 確認事項：市が判断可能か

成果物：提言書ドラフト

Phase18 (34～36ヶ月)

▶目的：正式提出

メンバーがやること：市役所提出／記者発表

(A) 確認事項：行政反応

成果物：最終提言書